福重ガイドマップ

春 夏 秋 冬

自然がくれた贈り物

歩いてみて 自然が語りかける 福重

Fukushige
Guide map

●福重へのアクセス【車でのご利用の場合】

長崎市（グラバー園や出島など）	約40分	福重地区	約15分	長崎空港
			約15分	高速東彼杵IC
佐世保市（ハウステンボスなど）	約50分		約8分	高速大村IC
			約5分	JR松原駅
大村市中心部（JR大村駅や大村公園など）	約15分		約5分	JR竹松駅

福重地区（観光農園）のお問い合わせ先

大村市グリーン・ツーリズム推進協議会
事務局(シュシュ)
電話：0957-55- 5288

●福重地区の紹介ホームページ

- 大村市グリーン・ツーリズム推進協議会　http://www.oomura-gts.com/
- おおむら夢ファームシュシュ…… http://www.chouchou.co.jp/
- 福重商工振興会…… http://www.octp-net.ne.jp/~tmng-kmt/

福重げんきプロジェクト実行委員会
福重地区開発委員会
福重地区11町内会
（沖田町、寿古町、皆同町、福重町、草場町、今富町、弥勒寺町
立福寺町、野田町、重井田町、サンコーポラス寿古）
大村市グリーン・ツーリズム推進協議会
福重商工振興会
大村市福重出張所

初版印刷発行：2010年2月15日

大自然に感謝して

郡岳（こおりだけ）

大村湾カントリークラブ

大又農園 野の実

鉢巻山

武留路山（むるろやま）

野岳湖

キャンプ場

シャクナゲ公園

裏見の滝

←福岡

長崎自動車道

おおむら夢ファーム シュシュ

県道大村・嬉野線

草場町（くさばまち）

東光寺

松尾神社

弥勒寺町（みろくじまち）

妙宣寺

福重 FUKUSHIGE 紹介

福重地区は大村市の北部に位置し人口は約四千人です。観光客が多く訪れる郡岳、御手水の滝（裏見の滝）、シャクナゲ公園、季節の草花、収穫が楽しめる果物園や田畑など風光明媚な所です。その歴史も古く約八千年前の縄文遺跡を始め古墳、中世時代の石仏や寺院跡など多数あります。また、寿古踊や沖田踊をはじめ郷土芸能も盛んな土地柄です。福重は「フルーツの里ふくしげ」とも呼ばれ梨、ぶどう、みかん、イチゴ、ビワさらに花や野菜などが生産され道路沿いに産地直売店も多く元気な所です。観光客の方も一年通して50万人以上です。また、国道34号線沿いには商店、工場、住宅も多いです。観光農園や史跡巡り、登山など様々なウォーキングコースに適した地域でもあります。

←佐世保
JR松原駅
←佐世保
八幡神社
JA
松原小学校
八幡丸
34
カメラスポット
Camera Spot
福重町
ふくしげまち
福重幼稚園
福重小学校
九州電通
田中工機
福重郵便局
福重案内板
長崎スコーコーヒーパーク
好武城跡
福重橋
34
大村湾
凡例
レインボーロード
長崎自動車道
国道34号線
県道大村・嬉野線
杭出津・松原線
カメラスポット
JR大村線
男女トイレ
※この鳥瞰図はイメージです。
カメラスポット
Camera Spot
寿古町
すこまち
杭出津・松原線
郡大橋
沖田町
おきだまち

素通りの町から ストーリーの町へ

●特産物・史跡・名所・旧跡の紹介は裏面にあります。

■ 観光施設

おおむら夢ファーム・シュシュ【弥勒寺町】

人気抜群の手作りアイスクリーム、パン、新鮮な野菜やフルーツを始め地場の産物でいっぱいでレストランなどもある。また、各種の料理教室、農業体験などもできる。自家用車だけでなく毎日のように大型バスも来場し、年間の観光客数は約50万人の人気施設です。

■ 観光施設

大又農園・野の実【東野岳町】

野岳湖のほとりにあり、春は菜の花、秋はコスモスなどの自然に囲まれたカフェである。園内では果物狩りができるほか、農園産の果物を使用した季節のスイーツが楽しめる。なかでも、自家製リンゴで焼き上げたアップルパイは大人気の一品である。

■ 観光施設

長崎スコーコーヒーパーク【寿古町】

長崎産のコーヒーを栽培する約300坪の大温室を有する他、レストラン・物産館を併設する、日本初の観光コーヒー園である。コーヒーを栽培している温室は見学無料で、同敷地内に在る「カフェ＆レストラン　スコーズ」もある。大型バスでの観光客もあり、人気を博している。

福重の特産物マップ

大村湾カントリー倶楽部
大又農園 野の実
野岳湖
月光の里
グリーンパーク岩本園
裏見の滝
鉢巻山
グラスルーツ野岳
太田製茶
春夏秋冬、自然が育んだ贈り物
野田町
九州横断長崎自動車道
雅花園
山道巨峰園直売所
中川酵素なし園直売所
山口純典なし園直売所
なかしまなし園直売所
寺道なし園直売所
富崎イチゴ園
大庭なし園直売所
福田盛憲花園
至長崎→
大村インター
立福寺町
レインボーロード
弥勒寺町
おおむら夢ファームシュシュ
草場町
松尾神社
山口純典なし園
大庭なし園
小路なし園直売所
小路なし園
山口正昭なし園
小玉巨峰園
今富町
山添なし園
中川酵素なし園
寺道なし園
卍 妙宣寺
妙宣寺保育園
松竹巨峰園
开大神宮
帯取
シュシュ巨峰園
牟田果樹園
清水ナーセリー巨峰園
山道巨峰園
开 牛頭祇園神社
岩永巨峰園
福重小学校
福重幼稚園
大庭なし園直売所
辻巨峰園
福重地区住民センター
山田ブドウ園
福重町
岡部巨峰園
県道大村・福野線
野岳入口
←至佐世保
JR松原駅
JR大村線
松原
田中鎌工業
田中工機
皆同町
34
至長崎→
至長崎→
大村湾
リンガーハット
長崎スコーコーヒーパーク
寿古町
沖田町
郡中
郡川
大村市グリーンツーリズム推進協議会

福重の特産物

SPECIAL PRODUCT OF FUKUSHIGE

福重梨

福重を代表するフルーツで県内はもとより全国にその名が知れわたっている。8月中旬から9下旬まで幸水、豊水、あきづき、新高など様々な品種がある。農家や道路沿いには直売所があり、観光農園では梨狩りが楽しめる。シーズン中は収穫祭始めにぎわっている。

ぶどう

8月上旬から10月上旬まで収穫されるのが、巨峰の品種を中心とした福重産のぶどうである。農家や道路沿いには直売所があり、観光農園ではぶどう狩りが楽しめる。シーズン中は収穫祭始めにぎわっている。

みかん

みかんは福重地区で最も多くの町内と農家で生産されているフルーツである。土壌の良さと太陽の恵みから糖度が高く柔らかと評判である。みかんの収穫は10月から12月までで、その時季の観光農園では、みかん狩りが楽しめる。

花

特産のカーネーションを始めガーベラ、トルコキキョウ、菊の花など沢山の花が栽培されている。その生産量もハウスの数も県内有数の規模を誇る。収穫のシーズン中、県内はもちろんのこと、県外へも沢山出荷されお客様に喜ばれている。

いちご

いちごも福重地区の農家では沢山栽培されていてハウスの棟数も多い。主な品種は「とよのか」で12月から5月頃まで収穫されている。シーズン中、ハウス内では甘酸っぱい香りが漂い、いちご狩りも楽しめて家族連れや若いカップルにも大人気である。また、県内外へのご贈答品としても喜ばれている。

おおむら夢ファーム シュシュ

地元大村産の農畜産物を利用したアイスクリームやプリン、ジュースやジャム、ケチャップ等の特産品が盛りだくさん。おみやげや贈答品等にどうぞ。

寿古珈琲

寿古町にある日本最初のコーヒー園で栽培されたコーヒーである。焙煎加工後のコーヒーはもちろん果肉を使った世界初のコーヒージャムも美味しい。コーヒー園横のレストランでは飲食もでき、また寿古珈琲を始め各種ご贈答用品も取り揃えてある。

大又農園・野の実

大又農園・野の実は、新鮮な果物にこだわったスイーツをご用意致している。りんごの風味や食感を大切にしたパイは定番の人気商品。そして、農園で旬を迎えた果物を主役にしたタルトは季節限定のお楽しみである。

福重の年間イベント・収穫時期（体験含む）

1月～5月	イチゴ狩り（体験）
4月～5月上旬	シャクナゲ祭り
5月連休	野岳の新茶祭り
6月～8月	ブルーベリー狩り
6月中旬	田植え（体験）
8月上旬	福重夏祭り
8月中旬～9月下旬	福重梨狩り（体験）
8月中旬～10月上旬	ぶどう狩り（体験）
9月中旬～10月	野岳のコスモス
9月中旬	鉢巻山の彼岸花祭り
10月～12月	みかん狩り（体験）
10月中旬	おくんち
10月中旬	稲刈り（体験）
11月初旬	福重文化祭
11月	芋掘り（体験）
11月～	花（ガーベラなど）（体験）

福重商工振興会　ふくしげ夏祭り

福重商工振興会は1978年の創立以来、地域商工業の振興はもとより同地域の発展に寄与している。この商工振興会主催による毎年恒例の『ふくしげ夏祭り』は、1984年から2009年現在で26回を重ね福重地区最大の行事で毎回数千人規模の参加がある。また、祭り内容も盛り沢山で舞台での演目に加え、出店や屋台などもあり賑わっている。

名所旧跡・史跡紹介

① 赤似田堤(野田町)

赤似田堤は、江戸時代初頭の寛文年代（西暦1661年から1670年頃）に野岳湖などをつくった深沢義太夫の二代目（弟の）深沢勝幸にて築堤されたと伝えられている。福重最大の大きさで風景も良い。

② 今富城址(皆同町)

好武城に続いて築かれた大村氏の居城。高さ11m。436m×110m。好武城とともに北方への備えの要点。大村純忠が三城城を築いて移り、江戸時代になって廃城となった。

⑨ 不動明王(弥勒寺町)

弥勒寺公民館横の道端にあり見やすい。高さ170cmの自然石に線刻された不動明王の姿が比較的によく分り、鎌倉中期の作と言われている。線刻模様の素晴らしさから専門書に「長崎県内で名碑」と紹介されている。(写真の線刻部分はCG)

⑬ 石走の道祖神(福重町)

幅、高さとも約1mの平たい石で真ん中の下部に「道有」の二文字がある。墓碑ではないかと言う説もある。

⑩ 下八龍(弥勒寺

仏様の高さは約
刻模様が整って
にあり見やすい。

⑪ 上河

この場所は
原（かみごう
宝珠を乗せる
芸能の神様と
時代に編纂さ

⑭ 仏頭(弥勒

石堂屋敷の
でひときわ
仏。大きな
みを掘りだ
けの仏様で
見る人の心
る。他に2体
る。室町後
われている。

⑮ 上八龍の線刻石仏(弥勒寺町)

石全体の高さは約155cm、幅は約300cmで、描かれている仏様の高さは約137cm、幅は約123cmである。シンプルな線刻模様ながら整った美しい形である。制作年代は諸説あるが、一説には平安時代末期の作とも言われている。(写真の線刻部分はCG)

⑯ 線刻石仏の

(弥勒

中世の香り漂う、福重を代表
里弥勒寺跡の前方、個人宅
計9体の線刻石仏がある。室
作と言われている。(写真の線刻

ウォーキングコース例

郡岳登山コース

野岳湖周辺
野岳湖バス停、ロザ・モタ広場の周辺の駐車場など

- 約25分 → 南口・登山コース（登り約60分／下り約30分）
- 約25分 → 西口・登山コース（登り約70分／下り約40分）

郡岳（826m）

観光農園コース

シュシュ
梨、ぶどう、イチゴ、ブルーベリー、花など。
弥勒寺町、今富町、福重町、立福寺町などに点在。［福重の特産物マップ］参照。

徒歩で約5分～15分 →

観光農園
梨、ぶどうなど20農園
弥勒寺町、今富町、福重町、立福寺町などに点在。［福重の特産物マップ］参照

史跡巡りコース

約2時間コース例
詳細は地図と紹介文参照

- 寿古町：好武城址、うなぎ塚
- 沖田町：弁財天、条里制田んぼ
- 皆同町：今富城址、舟繋ぎ石
- 福重町：道祖神、妙宣寺
- 今富町：大神宮、キリシタン墓碑
- 弥勒寺町公民館：不動明王
- シュシュ：下八龍の線刻石仏

③ 好武城址(寿古町)

戦国時代の古城祉。郡川と深田に囲まれた高さ9mの高台に築かれ、北方からの敵に備える位置にある。160m×250mと狭いため400m上流に今富城が築かれた。

④ 舟つなぎ石(皆同町)

この一帯は海が入り込んでいた所で、舟つなぎ石と呼ばれる石が数箇所にある。皆同の船つなぎ石はその代表的なもの。ここは現在の海岸から1km離れている。

⑤ 郡岳(重井田町)

優しい山容の郡岳(こおりだけ、826m)は奈良時代初期に三尊を祀る神社があった。現在は1年通して登山客が絶えない長崎県央地区で人気の山である。

⑥ 御手水の滝<裏見の滝>(重井田町)

野岳湖の水が流れ落ちる高さ30m滝。滝の裏側の岩が大きくえぐれており滝を裏から見ることができるので裏見の滝とも呼ばれる。付近一帯はシャクナゲ公園になっており見頃の4月は賑わう。

⑦ 裏見の滝シャクナゲ公園(立福寺町、重井田町)

毎年3月終りから5月中旬頃まで日本原産のツクシシャクナゲを始め世界45種類5,800本のシャクナゲが咲き乱れる。この時期には「しゃくなげ祭り」が開催され写真や俳句コンテストなどもあり、生花、鉢植え、竹製品など地場特産品が販売されている。

⑧ 今富キリシタン墓碑(今富町)

大村純忠の家臣・一瀬栄正の墓。干十字を刻んだかまぼこ型のキリシタン墓碑を起こし、底に戒名を刻み仏式の墓に見せかけてある。傍の手水鉢も同型墓碑を改造したもので、中浦ジュリアンの叔母・一瀬栄正夫人の墓か。

龍の線刻石仏(町)

3cm、幅は約52cmで線る。シュシュの駐車場脇(写真の線刻部分はCG)

原の弁財天(沖田町)

川の左岸から約80mの上河集会場横にある。左手に手で法剣を握る形と思われる。一般に弁財天は水(川)やして信仰されてきたので郡川と関係あると思われる。江戸た大村郷村記によれば1681(天和元)年に建立された。

⑫ 馬込水源(草場町)

この馬込(まごめ)という所には今から約千数百年前の肥前国時代に古代の道と駅(新別駅、にきた)があったといわれている。水神様付近からコンコンと泉が湧き出ていて、下流の川床には溶岩流跡が露出している。

寺社紹介

⑲ 松尾神社(草場町)

松尾神社(まつのおじんじゃ)の創建は1548(天文17)年で今富町にある大神宮と同じく旧・福重村の氏神である。また「酒の神様」でもあり重井田町の御手水の滝(裏見の滝)から水を汲み酒を造っていたとの古記録もある。

⑳ 大神宮(今富町)

大神宮の創建は1542(天文11)年で1874(明治7)年に旧・福重村の氏神となり松尾神社と1年交代で宮日をおこなっている。境内には石割り樫や亀石などがある。

㉑ 石割り樫(今富町)

今富の大神宮境内にある。水も土もない高さ2mの大石の上に落ちた種子が芽生え、石の割れ目に沿って2m下の地面まで必死に根を伸ばし、約100年かかって高さ5mの木に成長した樫(かし)の木である。現、御神木として祀られている。

㉒ 妙宣寺(福重町)

妙宣寺は日蓮宗の寺で1602(慶長7年)、宮小路の極楽寺跡に建てた仙乗院が妙宣寺の始まりで1614(慶長19)年、現在地に移り寺名も深重山妙宣寺と改めた。1885(明治18)年に焼失し、廃寺だった池田の宝円寺の本堂を買って1886年に移築・再建したのが現在の本堂である。

寺町)

仏群の中を引く石石に顔の た頭部だ朴ながら引きつけの仏頭があの作と言

一例(寺町)

する仏の裏山。合町時代の部分はCG)

⑰ 鼓石[つづみいし](弥勒寺町)

野岳湖行きの鼓石橋から下った所にある大きな自然石。直径3cm、深さ30cmの丸い穴があり、掌で叩くとポンポンと鼓を打つような音がする。好天時には澄んだ音、悪天候の時は濁った音で、昔は天気予報に利用した。

⑱ 龍福寺跡(立福寺町)

龍福寺(竜福寺)の創建は不明だが、1343年と1459年の文書に存在が確認できる寺院である。現在の立福寺町の名前の元となった寺院である。ここの民家は昔から通称「寺屋敷」と呼ばれ「當寺中興」と彫られた石塔などがある。

郷土芸能紹介

㉓ 立福寺の龍踊(立福寺町)

龍踊の起源は諸説あるが今から約150年前と言われている。現存している銅鑼(ドラ)に『安政六年(注:1859年)七月吉日　今留村龍福寺』と彫られている。

㉔ 今富浮立(今富町)

最初に踊られたのは一説によると1925(大正14)年といわれている。浮立の形態は掛打ち踊りと大太鼓(月ノ輪)を打ちながら舞う大太鼓舞の複合の浮立である。

㉕ 寿古踊(寿古町)

寿古踊は国選択無形民俗文化財で500年以上の歴史がある。歌は祝い事にふさわしいめでたい歌で、早踊りの歌は色歌(恋歌)に変わる。歌詞も歌い方も室町時代の面影を残す古いもので舞太鼓も古風な打ち方で長崎県内では数少ない古い芸能の姿を伝えている。

㉖ 沖田踊(沖田町)

沖田踊は国選択無形民俗文化財で500年以上の歴史がある。円陣を作って太刀と長刀が向い合って踊る形は県内でも九州でも見かけない踊りである。歌詞は艶麗な恋歌で歌い方は悠長である。武術の型を踊りに構成したと見られ激しさを内に秘めながらも優美な踊りである。